

4-1-1.HTML

■HTML

はじめに

「HTML」は、ウェブページを作成するために開発された言語です。

現在、インターネット上で公開されているウェブページのほとんどは **HTML** で作成されています。

「HTML」とは、「**Hyper Text Markup Language**（ハイパーテキスト・マークアップ・ランゲージ）」の略の事で、情報同士を結びつけて、情報を整理するという特徴があります。

Step1 : タグの意味を知ろう

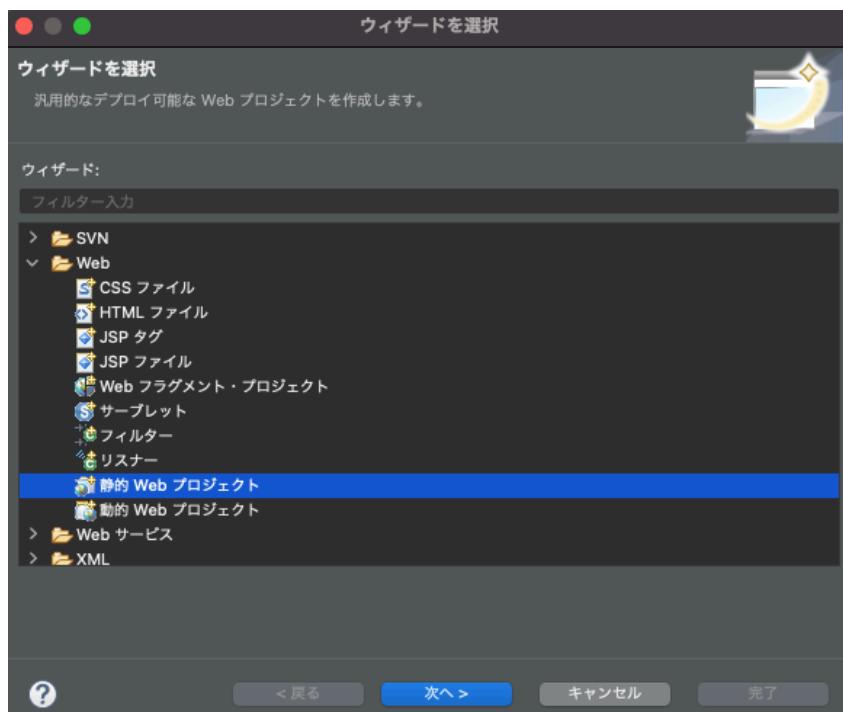
さっそくHTMLを書いてみましょう。

例題を記述し、ブラウザでどのように表示されるのかを必ず確認するようにして下さい。

HTMLには基本となる形が存在しているので、それを離形として覚えてしまいましょう。

準備

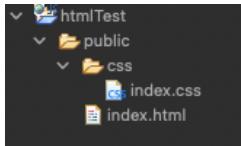
パッケージエクスプローラー内で右クリック→「新規」→「その他」→「静的webプロジェクト」を選択して次へをクリックして下さい。



プロジェクト名を記載して、完了をクリックして下さい。



プロジェクト内の「public」フォルダ内に、「index.html」ファイルと「css」フォルダ/「index.css」ファイルを作成して下さい。



準備が整ったら課題を進めて行きましょう！

例題

`index.html`を開いて、下記のコードを記述しましょう。

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="UTF-8">
    <title>Title</title>
  </head>
  <body>
    <p>Hello World!</p>
  </body>
</html>
```

それでは順番にこれらのコードの意味を見ていきましょう。

DOCTYPE

```
<!DOCTYPE html>
```

これは「**Document Type宣言**」「**DOCTYPE宣言**」と呼ばれ、ブラウザに、「どのようなドキュメント（文書）であるかを知らせる」役割があります。ここでは「このドキュメントは【HTML】である」事を示しているのです。

htmlタグ

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
</html>
```

このように <> で囲まれたものを **タグ** と呼びます。

この場合は <> で囲まれているのが **html** であるため、**htmlタグ** と呼ばれます。

後の </> は **閉じタグ** と呼ばれ、多くの **タグ** は、このように **タグ** と **閉じタグ** で囲みます。

HTMLの文書は、「DOCTYPE」を除き全ての要素がこの <html>....</html> の中に配置されます。

「htmlタグ」に囲まれている要素が「HTML文書である」事を示しています。

また、先頭のhtmlタグには `lang="ja"` という表記が併記されていますね。

こちらは **日本語のページである** というのを示しています。

「lang」とはすなわち **Language (言語)** であり「ja」とは **Japanese (日本語)** という意味です。

これで、**日本語のHTML** であるということが示されました。

headタグ

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    </head>
  </html>
```

headタグ の行頭が一段下がっているのは分かるでしょうか？

このように **インデント (字下げ)** する事で、

『headタグ』は『htmlタグ』の中に配置されている」というのをわかりやすく表記しています。

そして「headタグ」の中には文書のタイトル等の **ヘッダ情報** を記述します。

html文書のヘッダには、その文書の作者情報、サーチエンジン向けのキーワードや説明、

文書のタイトル、利用するスタイルシート等、その文書に関する情報を記載します。

metaタグ

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="UTF-8">
    <title>Title</title>
  </head>
</html>
```

「**metaタグ**」は上記のように「閉じタグ」がないタグです。
そしてこのmetaタグには、**charset="UTF-8"**と書かれていますね。
charsetとは**文字セット**という意味です。そして**UTF-8**とは**文字コード**です。
つまりは、**文字コードをUTF-8にセットする（指定する）**といった意味になります。

文字コード

文字コードとは、コンピューター上で文字を扱うために個々の文字、記号に割り振られた固有の番号の事を指します。
コンピューターはデータを数値でしか扱うことが出来ません。
文字列も数値で扱う必要があります。
文字を表示させるためには文字コードが必要になるのです。
そんな文字コードの中でも「**UTF-8**」は世界的に最もポピュラーな文字コードとなっています。

titleタグ

次に**titleタグ**です。このタグは「閉じタグ」が存在しています。
この「titleタグ」の役割はその名前の通り、文章のタイトルを指定するものです。
いわゆる、**サイトの名前**になります。
タブに表示されるサイト名は、この「titleタグ」で指定されたものが表示されます。
上記の例だと「Title」がタブ名として表示されているはずです。
好きな文字列に変えてみることで、タブの名前も変わるかを確かめてみてください。
このように「headタグ」内で指定された情報は「titleタグ」を除き、
ブラウザ上には表示されません。しかし、これらはちゃんと役割を持ち、機能を果たしています。

bodyタグ

それでは、次に「**bodyタグ**」を見ていきましょう。
「bodyタグ」と「headタグ」は同じ階層（インデントの数が同じ）です。

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="UTF-8">
    <title>Title</title>
  </head>
  <body>

    </body>
  </html>
```

「bodyタグ」は、**文書の本体**を表すものです。
実際に「ブラウザに表示される文書の本体」を記述します。
HTMLのマークアップは、主にこの「bodyタグ」内の情報を記述していく事になります。

pタグ

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="UTF-8">
    <title>Title</title>
  </head>
  <body>
    <p>Hello World!</p>
  </body>
</html>
```

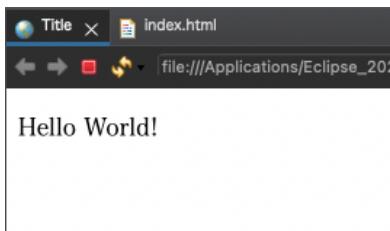
pタグは、文字を表示させる時によく用いられるタグです。
文字を表示させた後、自動的に改行も挟まれるという特徴があります。

では、htmlファイルをWebブラウザで表示させてみましょう！

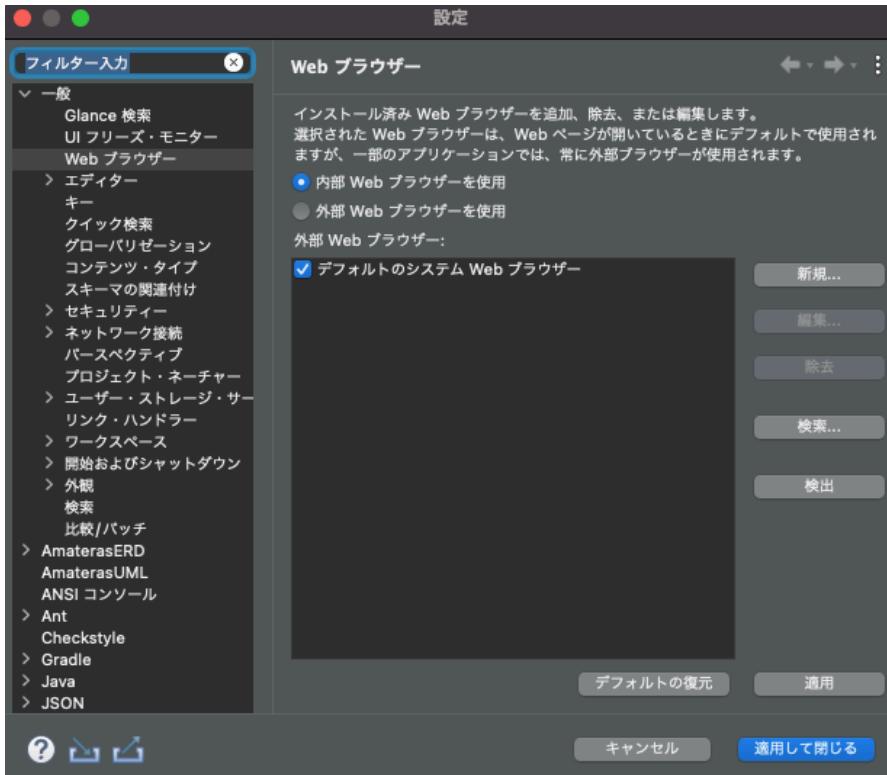
index.htmlを右クリックし、「次で開く」→「Webブラウザー」をクリックして下さい。



次のようにEclipseに表示されます！



Eclipse内でうまく開かない場合は、Eclipseの設定から、「一般」→「Webブラウザー」内で、「内部Webブラウザーを使用」にチェックを入れて下さい。



この「pタグ」を始めとしたタグの組み合わせで、HTMLの文章は構成されています。
いきなりは難しいかもしれません、少しずつこれらの「タグ」とその「役割」を覚えて行きましょう。

課題

提出課題はありませんので、一通り学習が終わったら次の章に進んで下さい。

最終更新日時: 2022年 08月 28日(日曜日) 07:11